

※これまで3回のワークショップをもとにまちのUD化の現状を分析し、UD化評価地図を作成します。

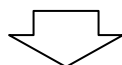
■ 現状のUDレベルを検証しよう

これまでに行った3回のワークショップから得られた調査結果や意見をもとに、対象地域の現状を評価し、整理していきます。

この第4回ワークショップは、これまでのワークショップの成果をまとめ、客観的な評価を行うものなので、まちづくりの専門家等による実行委員会のみ構成としてもよいでしょう。調査を行った主要利用施設（建築物）、移動拠点（駐車場）、トイレ（車いすトイレ、公衆トイレ）、主要な移動経路について、「使いやすさ」「わかりやすさ」「心地よさ」の視点から設定したUD化目標水準（下記表参照）に基づき、それぞれ目標水準をどれくらい達成できているかレベルを検証します。なお、水準項目は地域の特性（例：坂道や階段が多い、自転車が多い等）を考慮して項目を増減するとよいでしょう。

UD化目標水準項目の設定

UDの視点	主要利用施設 建築物	移動拠点 駐車場	トイレ 車いすトイレ 公衆トイレ	主要移動経路
使いやすさ	アクセシビリティ （利用円滑性）	アクセシビリティ （利用円滑性）	アクセシビリティ （利用円滑性）	移動のしやすさ
	車いすトイレ	車いすトイレ		
わかりやすさ	案内表示	案内表示	案内表示	案内表示
心地よさ	明るさ・清潔感	明るさ・清潔感	明るさ・清潔感	トイレの配置
	休憩スペース	休憩スペース	休憩スペース	休憩スペースの配置
	人的対応	人的対応		歩車分離



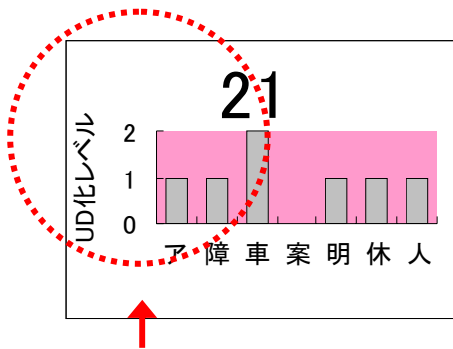
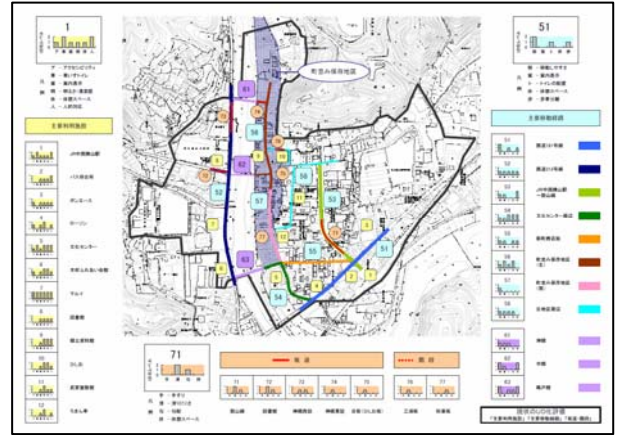
（具体的な目標水準のイメージ）

レベル1	歩いて楽しむための低次レベル（助けがあれば移動や利用ができる）
レベル2	歩いて楽しむための基礎レベル（単独で移動や利用ができる）
レベル3	歩いて楽しむための高次レベル（単独で快適に移動や利用ができる）

UD化評価地図を作成しよう

現状レベルの検証を行い、施設や設備、移動経路ごとのレベルを出したら、レベルが低い箇所について、どのような課題があるか整理します。また、現状レベルをグラフ化します。

対象地域内の主要利用施設や駐車場、トイレ、主要移動経路のUD化評価グラフと休憩スペース、案内板、トイレの位置を同じ地図にプロットし、対象地域内の面的なUD化の現状が一目で分かるように、UD化評価地図を作成します。



- ア - アクセシビリティ
- 障 - 障害者用駐車場
- 車 - 車いすトイレ
- 案 - 案内表示
- 明 - 明るさ・清潔感
- 休 - 休憩スペース
- 人 - 人的対応

